

『佛教文化論集』

目次

第一輯

- 刊行の辞 高橋 隆天
弘法大師における教判論の二面性 佐藤 隆賢
作法集の研究 布施 浄慧
道元における仏教教育 斎藤 昭俊
中国民間の地獄十王信仰について 吉岡 義豊

第二輯

- 刊行の辞 高橋 隆天
弘法大師のおしえ 芙蓉 良順
弘法大師の六大説について 佐藤 隆賢
作法集の研究 布施 浄慧
近世における仏教庶民教育 寺子屋 斎藤 昭俊
太上玄宗科儀とその解説 吉岡 義豊

第三輯

- 刊行の辞 高橋 隆天
『吽字義』考 佐藤 隆賢
理趣經の成仏論 福田 亮成
―特に十六大菩薩生をめぐって―
作法集の研究 布施 浄慧
風水思想と科学の間(上) 牧尾 良海
―風水説批判論の探尋試論―
インドの自然神 斎藤 昭俊
玄宗皇帝の宗教政策 今枝 二郎
『大日経』住心品漢藏対照索引 吉田 宏哲
『大日経疏』住心品索引

第四輯

刊行の辞

真言密教の仏身論

弘法大師の重々帝網論

『声字実相義』について

大師の追善思想

—性霊集の願文を中心として—

弘法大師と自然

弘法大師における中国思想

—『三教指帰』出典攷—

弘法大師信仰に関する実態調査

高橋 隆天

吉田 宏哲

福田 亮成

佐藤 隆賢

布施 浄慧

牧尾 良海

今枝 二郎

齋藤 昭俊

齋藤 昭俊

第五輯

刊行の辞

『金剛頂瑜伽中略出念誦經』

—六卷本・四卷本對照研究—

弘法大師の法身説法説とその構造

弘法大師入唐期における唐代の諸相

オラーオーンの宗教

風水思想と科学の間下

大乘起信論 漢英・英漢対照索引

高橋 隆天

遠藤 祐純・苔米地誠一

福田 亮成

今枝 二郎

齋藤 昭俊

牧尾 良海

吉田 宏哲

吉田 宏哲

第六輯

刊行の辞

陰陽道と覚鑠上人

〈続金剛頂經入門〉

初会金剛頂經金剛会品解説

—金剛秘密曼荼羅—

『聾瞽指帰』と『三教指帰』

高橋 隆天

牧尾 良海

遠藤 祐純

遠藤 祐純

福田 亮成

福田 亮成

三宝院流報恩院方相承『作法集』

布施 淨慧

本文と口訣書の資料対照及加注(1)

仏教と道徳(一)

齋藤 昭俊

— 宗教教育と道徳教育 —

道教經典に見られる五蔵について

今枝 二郎

第七輯

刊行の辞

高橋 隆天

空海における三密加持の様相

福田 亮成

△続金剛頂經入門▽2

初会金剛頂經金剛界品解説

遠藤 祐純

金剛智・法曼荼羅、金剛事業・羯磨曼荼羅

仏教と道徳(四)

齋藤 昭俊

— 修身教育・道徳教育と仏教 —

加持身と本地身について

渡辺 新治

真言密教における葬送儀礼

田中 悠文

小品般若經の研究(1)

小峰 彌彦

— 羅什訳『小品般若經』初品試訳と問題点 —

『四天女請問』に見られる人間観

金本 拓士

A study on the annotated translation of

『Ichigo-taiyo-himitushu』

元山 公寿

第八輯

刊行の辞

高橋 隆天

『華嚴經』十地品に見る教意

佐藤 隆賢

△続金剛頂經入門▽3

初会金剛頂經金剛界品解説

遠藤 祐純

四印曼荼羅 一印曼荼羅

真言人の教育

— 空海の求めた人間像 —

斎藤 昭俊

『般若心経』再考

小峰 彌彦

生まれつきの悪業と救い

小山 典勇

— クリシユナ伝説から —

仏教における言語の諸問題 (1)

廣澤 隆之

第九輯

刊行の辞

高橋 隆天

『諸宗教理同異釋』真言宗意段

佐藤 隆賢

日本における仏教文化と教育

斎藤 昭俊

空海の『開題』類にみる密教 (一)

福田 亮成

『初会金剛頂経』研究

遠藤 祐純

「降三世品」

『小品般若経』の研究 (2)

小峰 彌彦

「私の死の準備ノート」— 死生観を視点に —

小山 典勇

弘法大師の虚空蔵菩薩求聞持法 (一)

北尾 隆心

密教と社会福祉のリレーションシップ

山口 幸照

平安期興福寺における真言宗について

苦米地誠一

『束草集』訳註研究 (一)

川崎大師教学研究所束草集研究会

回帰すべき場としての自然

廣澤 隆之

第十輯

刊行の辞

藤田 隆乗

三業と教育

斎藤 昭俊

空海の『開題』類にみる密教 (二)

福田 亮成

Buddhaguhya 造『タントラ義入』の研究

遠藤 祐純

— 試訳 — (1)

胎蔵曼荼羅解釈上の一視点

小峰 彌彦

なぜ人を殺してはいけないのか

小山 典勇

— 仏教的生き方の一考察 —

覚眼記『秘鈔伝授記』について

北尾 隆心

『東草集』訳註研究(二)

川崎大師教学研究所東草集研究会

仏教に見る言語と非言語の相関

廣澤 隆之

「如実知自心」考

吉田 宏哲

第十一輯

刊行の辞

藤田 隆乗

心定『受法用心集』の諸本について

末木文美士

東密における十界論

大久保良峻

密教図像と修法と絵画的視点

真鍋 俊照

空海と藤原三守 — 綜芸種智院攷 —

武内 孝善

密教西漸 — 中国における密教研究の現状 —

静 慈圓

仏となれる人

頼富 本宏

— 聖徳太子信仰から弘法大師信仰へ —

『大日経疏』と『大日経広釈』について

遠藤 祐純

法語『迷悟問答集』について

福田 亮成

空海の視座

小峰 彌彦

曇寂と法住の会合説について

小林 靖典

『禅秘要法経』における白骨観について

阿部 貴子

振鈴について

川崎一洗(一洋)

信証作『阿字観抄』の研究(一)

北尾 隆心

文明論としての原発問題

鈴木 晋怜

— 宗教者の一視点として —

空海の梵字観

小峰 智行

教舜記『金剛界口傳抄』三卷翻刻

布施 浄明

— 羯磨・三昧耶・供養会の五佛について —

『大日経』と空海 — 秘門感得説について —

山本匠一郎

室町末期醍醐寺僧の巡礼記

高橋 秀城

— 厳助『高野参詣路次中日記』を読む —

東日本大震災と真言密教の文化

小山 典勇

阿弥陀陀羅尼の受持法と功德

佐々木大樹

― 諸資料の成立系譜を探る ―

三昧耶 (samaya) と現観 (abhisamaya)

金本 拓士

― 三昧耶に「除障」の意味があるのか ―

弘法大師の真言観について

元山 公寿

仏塔における教理の象徴化再考

種村 隆元

― クラダッタ著『所作集註』第8章「仏塔の特徴」

セクションに見られる教理の象徴化について ―

第十二輯

刊行の辞

藤田 隆乗

仏教疎外と仏教教育

斎藤 昭俊

隆瑜撰『五輪九字明秘密釈拾要記』研究(1)

福田 亮成

教化学への試論

小峰 彌彦

空海のみた金剛智三蔵(一)

北尾 隆心

― 金剛智三蔵の出身を中心に ―

恵果からの相承と『即身成仏義』

佐々木大樹

― 「三平等」と「即身成仏」の表現に注目して ―

実範・重誉の非情成仏論

別所 弘淳

『蘇悉地経』の灌頂曼荼羅について

駒井 信勝

誰が葬儀の対象となるのか？

種村 隆元

― インド密教の葬儀に関する一考察 ―

日常の悩みの医療化と仏教の可能性

佐藤 隆一

― マインドフルネスの背景を考える ―